

### とうろう 灯笼



#### 十二支を彫刻 奥の院型

いろいろな種類の石灯笼が見られます。最も大きな「奥の院型」は、春日大社奥の院にある灯笼が模してあり、「春日型」の原型とされています。十二支など彫刻が可愛らしいんですよ。



藤田佐和子さんに伺いました

#### 唐獅子と牡丹

百獣の王と百花の王を組み合わせた吉祥図

#### 十二支

方角を表すことから「子」を北向きに設置するのが一般的ですが、この灯笼は異なります(経緯不明)。どの干支が北向きか探してみても



#### 波とうさぎ

縁起物の「波うさぎ」がここにも。うさぎは3面に彫られており、それぞれ姿が異なります



# TMO NEWS

西脇まちなな交流館を拠点としたまちづくり town management organization「TMO」 親しみを込めて「トモ」と読み、その活動をお伝えします



笹倉美樹さんに伺いました



ぴよんと足を はね上げた姿

▲古くから「繁栄と飛躍」の縁起物とされる波うさぎ。波は水を表し、火除けの意味も

#### 屋根の上へうさぎ発見!

二年ほど前から屋根の珍しいところに装飾瓦があるなあと思っていました。隅棟の上端部分です。それが今回、望遠カメラで撮影して初めて「波うさぎ」だと判明! 双眼鏡を持参されてぜひご覧ください。

## 旧来住家住宅の ツウな見どころ5選

好評につき 第三弾

夏号の恒例となってきました「旧来住家住宅の「ツウな見どころ」特集。今回もボランティアガイドの皆さんが興味深い話題や新ネタを教えてくださいました。知れば知るほど面白い文化財です。(は)

### 引き手

天野孝美さんに伺いました

#### 襖を飾る小さな工芸品

襖や天袋に素敵な図柄の引き手が使われています。見逃しがちな小さな工芸品。一つ一つにお屋敷を建てた梅吉さんの思いが込められている気がします。



◀家族で過ごす2階和室には夫婦円満や家庭円満を願う「波千鳥」

▶居住スペースの1階には梅吉さんの幸福が満ちていくのを感じさせる梅花と上弦の月。座の形は茶花として愛される花鉄線



◀瑞祥「竹輪(たけわ)」が配されているのは「松の間」の別名を持つ離れ。主は梅吉さんなのでまさに「松竹梅」ですね



#### 波うさぎ装飾瓦



▲茶色まじりの玉石が夏の日差しを柔らかく受け止め、柔和な印象です

### かれさんすい 枯山水

#### 前庭が淡路石の枯山水に

一面のシバザクラで親しまれてきた前庭が今春、枯山水庭園に。淡路産玉石の海に黒田庄産門柳石(もんりゅういし)の小島が浮かぶ、のどかでゆったりとした風景が広がります。シバザクラも一部残されていますよ。夏はサルスベリの花が見ごろになります。



時本洋子さんに伺いました

◀サルスベリの木があります

### 床の間

吉川 徹さんに伺いました

#### 多彩な銘木が調和をなす

床の間は高級銘木の宝庫。床柱や床框などの部分によって、産地、材質、色味の異なる個性豊かな材木が使われていて、しかもそれが見事に調和しているのが素晴らしいですね。



北山杉の天然しほり

神代杉の笹空

桐

但馬産の桑

違い棚

ひやき ぎよりんもく 樺の魚鱗空

くしやく 黒柿の孔雀空

ひやき 竹嶋産樺の玉空

うづら 松赤味鶏空